



小林市立小中学校教職員のみなさまへ

小林市スクールサポートセンター

SSCでは、教育効果をよりいっそう高めるために、教師が子どもと向き合う時間を少しでも確保できるように、いろいろなシステム開発にあたっています。

今回は、現在、SSCで開発・運用している5つのシステムについてご紹介します。

I SSC文庫学校間回覧システム

学級単位で1セット（約30冊）にした児童図書を小学校間で毎月回覧するシステムです。

現在、市内の小学校4校（小林小、南小、東方小、永久津小）で運用しています。4校の子どもたちは毎月、多くの本に出会っています。

この取組が各学校における図書館教育の充実のための第一歩となることを願っています。



図書を購入する予算は？

各小学校の予算の一部（児童数割）をSSCに配分して、図書を共同購入します。購入図書は負担額に応じて各学校の図書台帳に登載します。一定期間（3年間）回覧した図書は各学校の図書館に配置します。

このシステムを運用することで、小規模の小学校でも少ない予算で多くの図書に出会えることになります。

図書の選定、登録、コーティング作業は？

読み聞かせボランティアの方々の協力をいただいています。おかげで、今年度は4月中旬に図書の選定を終え、6月下旬にはSSC文庫の回覧を開始することができました。

私は、あまり本を読みませんでした。でもSSCの本がきてから、おもしろくて楽しい本ばかりで、早く次の本がまわってこないか楽しみにまっています。

（永久津小6年生）

- いつも好きな本が必ず1冊あってちゃんと読める。
- おもしろい本がいっぱい。
- 次はどんな本がくるかわくわくする。
- 新しい本がすき。

（東方小3年生）

SSCの「他校から本がやってくる」というシステムが新鮮なようです。期限付きでもあるので、「まずはSSCの本から。」と言って読んでいます。

（南小6年担任）



コーティング作業は難しいところもありましたが、この本を読む子どもたちの笑顔を想いながら楽しく活動ができました。大切に読んでくれたらうれしいです。

（読み聞かせボランティア）



20年度からは市内を2つのグループに分けて、全小学校に導入する予定です。

Aグループ（小林小、南小、東方小、永久津小、内山小）

→来年度は1、2年生用の図書を購入して全学年分を回覧します。

Bグループ（三松小、西小林小、細野小、幸ヶ丘小、須木小、鳥田町小）

→来年度は5、6年生用の図書を購入して回覧します。

II 教育情報共有システム

市内の小中学校が所有する視聴覚教材（ビデオ、DVD、CD等）のライブラリーです。

地域インターネット上で、どの学校からでも、検索や貸借ができるシステムです。

このシステムを運用することで、各学校の視聴覚教材の有効活用を促進することができます。

20年度は、市内小中学校が所有する全ての教材教具のライブラリーを構築する予定です。



The screenshot shows the Microsoft Internet Explorer interface for the SSC School Support Center Information Administration System. The main window displays a search results table for audiovisual materials. The table includes columns for ID, Media Type, Age Group, Grade, and Title/Summary. Several entries are listed, such as '健康なんとかからだシリーズ' (VHS, 14, 保健体育, 小学小中) and 'からだの成長Q&A' (VHS, 20, 保健体育, 中). A red arrow points from the bottom-left of the main window down to the status bar. Another red arrow points from the bottom-right of the main window to a separate window titled '使用してインターネットを後悔' (Regret using the Internet), which contains a list of various regretful experiences related to the internet.

<システムの特徴>

- ・教科や表題等の一部など様々な条件を組み合わせての検索が可能です。
- ・各学校での保管場所が記入されているので、所在が容易にわかります。
- ・各視聴覚教材について内容の要約が記述しております。
- ・実際に利用した先生方のコメント記入欄があり、参考になります。（開発中）

このほか、地域人材情報、作品募集情報等についても随时、提供しています。



これまで各学校で作成していた夏休み作品募集一覧表をSSCで作って下さって、大変助かりました。各方面から案内が届き作品募集の選択が難しかったのではないかでしょうか。精選して取り組めるといいのですが、選択が難しいですね。

（西小林小6年担任）

Ⅲ 文書情報共有システム

地域インターネット上で、文書の配信、受信、発信、保存を一体的に処理するシステムです。

教育委員会から配信された文書は、各学校の受信簿に登録されると同時に保存されます。

このシステムを運用することで、教頭や教務主任、事務職員等の文書事務を年間約200時間削減することができます。

20年度は諸会議や報告期限などの情報が日課や学校日誌にリンクするシステムを構築する予定です。

The screenshot shows three windows of a Microsoft Internet Explorer browser. The main window displays a search interface for 'Document Administration System' with fields for '文書番号' (Document Number), '担当者' (Handler), '分類' (Category), '登録日' (Registration Date), and '受付者' (Recipient). Below this is a table of search results with columns for ID, 登録日 (Registration Date), 業種/属性 (Type/Attribute), 内容/立場表明 (Content/Position Statement), and 处理状況 (Status). Several documents are listed, each with a preview thumbnail and a checkbox. A red arrow points from the bottom-left of this window down to a smaller preview window. Another red arrow points from the top-right of the main window to a larger preview window on the right. This preview window shows a scanned document with a stamp and some Japanese text.

<システムの特徴>

- ・教育委員会は文書をスキャンしてPDFファイル化し、各学校の受信簿に配信します。（コピー不要）
- ・各学校は、受付日と担当者名等を入力することで受付と保存が完了です。（表題等の入力は不要）
- ・回覧を要する文書と受信文書一覧を出力して回覧します。
- ・教頭または教務主任は担当者へ文書を配付します。（コピー、ファイリング不要）
- ・担当者はシステム上で、起案用紙及びカガミ文が出力できます。（開発中）
- ・様々な条件を組み合わせて検索でき、目的の文書をワンクリックで画面上に表示できます。



受付文書の手帳へのメモ、各担当者へのコピーの配付、ファイリング、必要なときの検索等、教務主任になった当初目が回る思いでしたが、こうしたシステムが利用できるようになれば、かなりゆとりができ、その分他の分野の仕事ができると思います。

（中学校教務主任）

IV 児童生徒情報管理システム

各種児童生徒名簿、指導要録（学籍の記録）、全課程修了者名簿、住所タックシール等が出力できるシステムです。

このシステムを運用することで、年度末や年度当初の繁忙期等における学級担任等の事務を一人当約10時間削減することができます。

20年度に向けて、学級設営や学校行事等における諸表示も簡単に出力できるようシステムの改善・充実を図っていきます。



忙しい時期に時間外でやってきた作業をしていただき、時間的、精神的ゆとりがでてきて、学級の子どもたちと落ち着いて向き合えるようになりました。

（小林小1年担任）

年度当初のバタバタの中では、どうしても生徒に直接関わることを優先してしまいます。ついつい事務処理は後回しに（反省）、それが気がついた時にはもう要録（学籍の記録）が記入されていて、大変驚きました。

（小林中1年担任）

V 保護者負担経費総合管理システム

給食費、教材費、校外活動費、PTA会費等の保護者負担経費を総合的に管理するシステムです。

このシステムを運用することで、学級担任等が集金・支払業務にあたることもなくなり、年間一人当約20時間の事務負担軽減を図ることができます。

また、保護者にとっても子どもにお金を持たせることがなくなるとともに、年間を見通した計画的な支出ができるようになります。

20年度に向けて、市内小中学校へのシステム導入を促進していきます。



集金と支払に費やす時間やお金の管理という精神的な負担がなくなり、時間の余裕と精神的なゆとりができました。子どもと接する時間が増え、大変ありがとうございます。感謝しています。

（小林小2年担任）

子どもにお金を持たせるのも多少不安がありましたし、お金が必要な時期が集中したり、小銭を用意したりするのも大変でした。これらが解消され、計画的に支払ができる、特に修学旅行費の支払などはとても助かりました。

（小林小6年保護者）



明けましておめでとうございます。今年も皆様にとって実り多き1年であることをお祈りいたします。

今回のSSC通信は、新春特集号として、SSCで重点的に取り組んでいる5つのシステムについてご紹介いたしました。

なお、今年度開発しました「視聴覚教材共有システム」、「文書情報集中管理システム」については近日中に説明会を開催いたしますとともに、各学校への導入につきましては、SSCで全面的にサポートしますので、気軽にご相談ください。

編集 SSC広報班
発行 小林市スクールサポートセンター
住所 小林市大字細野184番地1 小林小学校内
TEL 0984-23-3516 FAX 0984-23-3576
E-Mail h45ksscoa@miyazaki-c.ed.jp